

酒々井町体育館検討委員会中間報告

1 酒々井町体育館の現状

酒々井町体育館は、昭和41年3月に酒々井中学校体育館として建設し、昭和54年4月に酒々井中学校が移転したことに伴い、町民のスポーツと健康体力づくりのための屋内スポーツ活動の場と位置づけをし、多くの町民に利用されてきました。

一方で、建設後45年が経過し建物の老朽化とともに、平成19年度に実施した耐震診断では、指標である I_s 値が国の示す0.70以下である0.204と診断されました。その後、平成23年3月11日に発生した東日本大震災（酒々井町：震度5弱）では、外壁の崩落などが発生し安全性の面から休館としました。

このような状況を踏まえ、平成22年11月に町体育館の今後の方向性について意見を聞くため、「酒々井町体育館検討委員会」が設置され、これまで4回にわたり議論を重ね、最終提言に向け中間報告としてとりまとめました。

○施設の概要

延べ床面積 863㎡

アリーナ面積 約522㎡（バレーボールコート1面、バドミントンコート3面）
※バレーボール・バドミントン同時には、利用できません。

付帯施設 更衣室（男女）、トイレ（男女）、器具庫、舞台

○利用状況（平成23年2月末日現在）

16団体（インディアカ、バドミントン、ソフトバレーボールなど）

280名（年間：延べ14,000人）

使用時間 午前9時から午後9時30分（午前1コマ、午後3コマ）

週28コマ中23コマ利用（利用率：82.1%）

○町の屋内運動施設

- ・学校開放事業（開放時間：平日 午後6時30分から午後9時30分
ただし、酒々井中学校は午後7時から。
土・日・休日 午前9時から午後9時30分
ただし、酒々井中学校は平日と同じ。

酒々井小学校体育館（アリーナ面積812.5㎡）

大室台小学校体育館（アリーナ面積806.4㎡）

酒々井中学校体育館（アリーナ面積1,482.9㎡）

- ・コミュニティプラザ（アリーナ面積513㎡）

利用時間：午前9時から午後9時

2 酒々井町体育館の今後の方向性

平成22年に実施した町民意識調査では、「現在取り組んでいる」「これから取り組みたい」生涯学習では、それぞれ「スポーツ」が最も高く、次いで「健康づくり」も上位となっています。

本検討委員会としては、町民の生涯スポーツに対する高いニーズに応えるためにも、

町民だれもが生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で心豊かに暮らすことのできるまちづくりを実現していく必要があります。現状として町体育館が使用できない状況であり、代替措置として使用している体育館等についても利用頻度が極めて高いことから、拠点施設としての町体育館を整備することが、町づくりの活性化のためにも重要であると考えます。

町体育館の建設に当たっては、当町の財政状況を勘案するとともに、すべての人に優しいバリアフリー化の導入や災害時の緊急避難施設として活用できる機能を備え、多目的に使用のできる体育館が望ましいと考えます。

3 提言する事項

本提言における以下の内容については、本検討委員会の中で協議した結果を集約したものであり、実際の建設に当たっては、町の人口規模・財政状況や計画を勘案する中で、柔軟に対応していただき、多くの町民の方々に理解される体育館の建設が望ましいと考えます。

①新築の場合

○場所

案1：総合公園の一部の土地を利用する。

理由：土地取得費がかからず、駐車場も確保でき総合公園の管理棟の役割りも果たす。

案2：総合公園に隣接した土地を取得する。

理由：総合公園は、そのまま利用でき総合的な運動公園の役割りを果たす。

○規模

案1：アリーナについては、バレーボールコートが2面を取れる位の広さとする。
(25m×35m：875㎡)

案2：アリーナについては、酒々井小学校体育館位の広さとする。
(25m×30m：750㎡)

案3：アリーナに加え、武道場（剣道・柔道）を兼ね備えた総合体育館とする。

○付帯施設

- ・ミーティングルーム
- ・更衣室（シャワールーム併設）
- ・器具庫
- ・トイレ
- ・多目的に利用できる施設
- ・防災備蓄倉庫

②改築の場合（耐震改修）

○規模（アリーナ部分）

- ・耐震改修をし、ステージを取り払うなど、現況を活用する。

○付帯施設

- ・ミーティングルーム

- ・更衣室
- ・器具庫
- ・トイレ
- ・防災備蓄倉庫（ステージ下の地下室を利用）

○その他

- ・駐車場は、現状では数台しか停められないため、その確保が必要である。
- ・酒々井小学校のプールの老朽化及び利便性を考え1階をプールにし、2階を体育館とする複合施設とする。